

## 令和2年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：武蔵野大学

### 1. 事業の実績

#### (1) 事業目的

現職の幼稚園教諭の約7割が二種免許状保有者であることや、首都圏における幼稚園教諭免許状上進のための講座が少ないこと、また幼稚園等業務と講座受講の両立を目指す受講者の時間的・経済的負担が大きいこと等を背景に、幼稚園教諭の専門性を高め、幼児教育の質を向上させることを目的として、本学の教育資源を活用した幼稚園教諭免許法認定講習（以下、本講習とする。）を開設する。

#### (2) 事業概要

実施日程：令和2年9月30日から令和3年2月11日まで

主な特徴：全て通信教育にて実施し、受講生は本学に足を運ぶことなく修了することができる仕組みとした。また、モチベーション低下や学習に伴う疑問解消のため、導入動画やコミュニケーション・フォーラムを設定した。

#### (3) 成果（事業の実績の説明）

①開設講座数：6科目（10単位） 各講座の受講定員100人 受講料1単位あたり5,000円 全講座を通信教育にて実施した。

開設した講習は「保育内容（健康）」「特別支援教育」「保育内容総論」「教育の方法と技術」「幼児理解と教育相談」「生活」の6科目である。

②各科目の受講者数：「保育内容（健康）」163人、「特別支援教育」157人、「保育内容総論」150人、「教育の方法と技術」144人、「幼児理解と教育相談」145人、「生活」150人。いずれの科目も定員を超えた申込があった。申込者総数は175人。当初の想定よりも申込者数は多かった。現役幼稚園教諭に配慮し、通学することなくオンラインのみで完結する講習としたことが、申込数へつながったと考える。

③単位取得者数：（令和3年2月1日時点）「保育内容（健康）」146人、「特別支援教育」136人、「保育内容総論」135人、「教育の方法と技術」128人、「幼児理解と教育相談」128人、「生活」133人。

受講申込者に対する単位取得割合は、全科目とも86%を超えている。なお単位取得延べ人数は806人となる。

④本事業を活用して、幼稚園教諭等一種免許状に上進した教員数（見込）：120人（令和3年2月1日時点）

※上記④については、各講座を修了し、幼稚園教諭等一種免許状に上進する際に使用する書類[学力に関する証明書(別表第3)幼一種免]を申請した人数を、上進した教員

数（見込）として算出した。令和3年2月11日まで履修期間が続くため、最終的な人数が増える可能性がある。

※令和3年2月1日時点で、申込者総数に対しての上進者数は約69%である。

#### （4）今後の課題・展望

受講者のアンケートで、本講習を選択した理由として「全て通信教育で受講できるから」と回答した受講者が90%であったことから、全て通信教育で行うことが受講者から支持されていると考え、引き続き同様の方法で行う。ただし、受講者同士および受講者と教員との繋がりによる学習の展開を意図してコミュニケーション・フォーラムを運営したが、活性化したとは言えない状況であった。その理由として、受講者同士のつながりの必要性やフォーラムの位置づけの訴求が不足していたこと、システム自体のわかりにくさが考えられるため、これらの点を中心に今後の改善につなげたい。

また、受講者数を安定的に獲得するために、上進ニーズの掘り起こしによる潜在層の獲得が必要であると考えている。